

平成26年度スマートコミュニティ構想普及支援事業 成果報告書（要約版）

1. 補助事業者名 : 公益社団法人湖南工業団地協会、大阪ガス株式会社、株式会社日建設計総合研究所
2. 対象地域 : 湖南工業団地（滋賀県湖南市）
3. 補助事業の名称 : 湖南工業団地におけるスマートエネルギーシステム構想検討事業

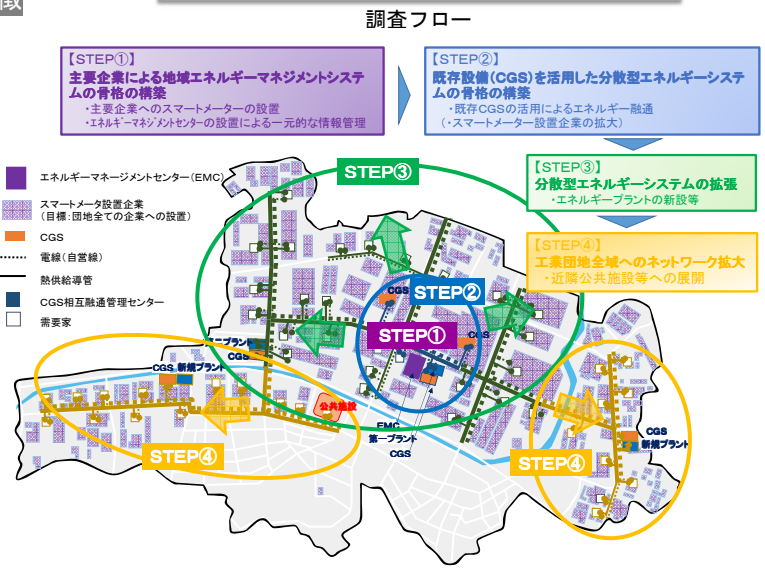
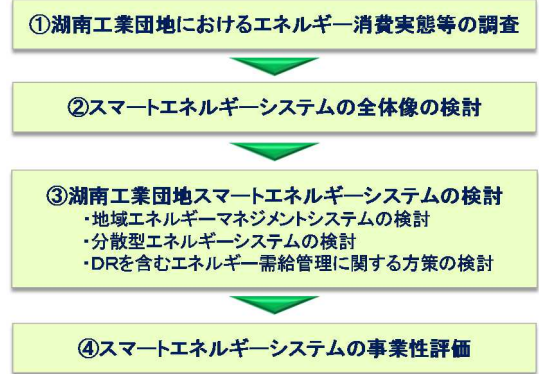
4. 内容

(1) 補助事業の目的

40周年を迎える湖南工業団地において、次代に向けたグランドデザインの一環としてスマート工業団地化を実現するために、地域エネルギーマネジメントシステムと分散型エネルギーシステムにより構成するスマートエネルギーシステムを構築し、その事業性を評価することを目的とする。

(2) スマートコミュニティモデルの特徴

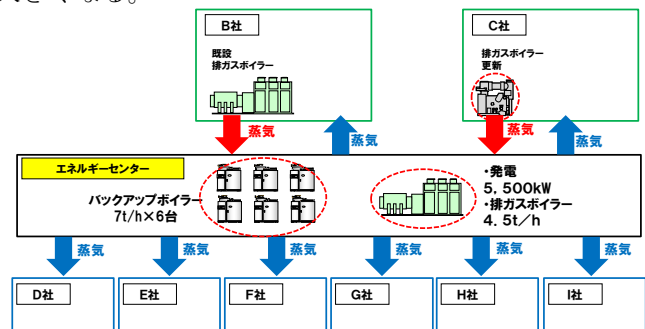
- 「全ての立地企業を対象とした地域エネルギーマネジメントシステム」と「分散型電源（CGS等）を有する企業及び近隣企業を対象とした分散型エネルギーシステム」により構成するスマートエネルギーシステムを構築する。
- 分散型エネルギーシステムについては、40周年を迎える湖南工業団地の工場等建物の建て替えや設備更新の時期を捉えて徐々にネットワーク化を図っていく、段階的増殖型エネルギーネットワーク形成を進める。



スマートエネルギーシステムの導入ステップイメージ

(3) 本事業の検討結果の概要

- 団地内のエネルギー消費実態としては、企業別の使用量に差があり、一部の企業に集中している。
- 各企業のエネルギー使用量や取組意向等が異なるため、まずは主要な企業からネットワークを構築した上で、段階的にネットワークが拡張できるようなシステムとする。
- 分散型エネルギーシステムのネットワーク構築にあたっては、既存 CGS 設備を有する企業からの熱供給に加え、新規の熱融通設備（CGS）及びバックアップ設備（排ガスボイラー）を新規に整備することで、経済性や事業メリットが大きくなる。
- 事業スキームについては、主要関係主体による組合方式により新たな事業主体を設立し、将来的に参画企業の拡大が可能な仕組みが望ましい。
- 長期的には、近隣の公共公益施設にもネットワークを拡大することで、地域全体の防災機能の強化に寄与することが期待される。



当初段階におけるエネルギーネットワークイメージ